



第1回女性技術者育成功労賞授賞式（2014年8月8日 経団連会館）
（前列 左から2番目が水本）

特集「IHI 力」号の発刊にあたって

執行役員

グループ業務統括室長 水 本 伸 子

IHI 技報の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

本号は、ものづくり企業である IHI グループの『力』を見ていただく特集号ですので、気合を入れて巻頭言を書いてみようと思います。

毎年 9 月号で、グループ会社のトップが語る将来展望、グループ会社の技術・製品、知財や技術エッセンスを紹介する「てくのすこーぷ」も定着してきた頃かと思います。本号では、これらに加えて IHI グループの人力知力を紹介する「見えない資産」を掲載しています。

私が IHI に入社した頃は、何にでも‘女性初の’^{ことば}という枕詞がつかました。何をするにも「前例がない」とも言われました。仕事の上でも「誰か男のいないの?」と問われ、「大気拡散は私の専門です!」と応えてきました。30 年の時が流れ、女性の活躍推進が国の成長戦略の柱として発信されても‘初’の冠は健在ですが、IHI グループは、これからもこの‘初’を増やして、イノベーションサイクルを回し、成長を続けます。

重厚長大で男性社会に見える IHI グループですが、現在、多くの女性のエンジニアが活躍しています。女性の視点で開発した製品こそありませんが、本号の「見えない資産」に登場する彼女たちは、仕事大好きで、IHI グループの製品に誇りをもっています。研究も、開発も、製造も、女性としてではなく、一人のエンジニアとして向き合っています。ただし、仕事で女性を意識することはなくても、今日までの道のり、理工学系を専攻して入社、仕事を続けるにあたっては、周囲の理解を得るために、人知れず苦勞してきたと思います。今現在も、時間の制約など数々の困難は、仕事への情熱で吹き飛ばしているはずで

ワークライフバランスは、いつも同じ割合ではなく、人生全体で結果的にバランスが取れていればよく、その時々にしなやかに対応してゆくことが大切です。そして、柔軟に乗り越える力は、企業の成長のエンジンとなります。技術としての価値に加え、彼女らの存在そのものが成長を支える見えない資産であると私は確信しています。

IHI では、女性の活躍推進を厚生労働省のポジティブ・アクションに宣言し、具体的な取組施策をあげて管理職への登用の数値目標を公表しました。「人材こそが最大かつ唯一の財産である」との経営理念のとおり、女性が有能な実務者に留まることなく、成長してさらなる能力を発揮できるよう、修羅場体験の機会作りを進めています。一方で、グループ内に女性が増えたとはいえ圧倒的にマイノリティーですので、女性ネットワークを強化する活動も行っています。このような地道な活動が社外からも評価され、2014 年の 3 月 3 日ひな祭りの日に、東京証券取引所と経済産業省による、平成 25 年度『なでしこ銘柄』に IHI が選定されました。

なでしこの花言葉は、純粹、才能、大胆、快活です。本号をお読みいただき、この花言葉にふさわしい IHI グループのなでしこエンジニアたちを、これからもご支援いただけますようお願い申し上げます。

